

令和6年度世田谷地域「地域交流ラボ」成果報告会

令和7年2月11日13時～16時



駒澤大学 内海ゼミナール
防災活動とコミュニティをつなぐ防災訓練の進化系イベント

防災コミュニティラボ

調査研究と実装



(1) 調査研究報告:防災知識と防災意識に関する実態把握

2年生: 森田麟太郎・遠田梨央

(2) イベント報告:「防災コミュニティラボ」の実装

4年生: 小山雄哉・武井博紀・山下真平・内山瞳・岩本幸樹・三宅歩果・新藤周・森山直之

3年生: 関山陽人・角井海・馬地泰輝・笹川拓真・星愛日・渡部海・青木颯利・中村勇凜・栗原琉斗・井川かえで

大柄結菜・山田将大・青木悠馬・熊澤裕大・高橋篤史・廣川悠大・沖本秀太・福原大門・鈴木佑芽・高塚百桃

2年生: 中尾心優・浦彩乃・鈴木伶奈・西尾大翔



1. 本プロジェクトの枠組

(青木、内山、武井、山下、渡部)



■ 背景（独自の調査研究）

① 地域コミュニティの希薄化

② 防災訓練への参加率が低い

→災害対策とコミュニティの醸成のための ラボを開発

“ラボ”：知識や技術を楽しくみんなが交流しながら遊び・学ぶ場

■ 目的（課題の解決）

“楽しく”身体と頭を動かして、

人と人の“絆を深めながら”防災意識を高める

進化形防災訓練「防災コミュニティラボ」の実装

2023年度・2024年度

■ 2024年度の報告

(1) 調査研究報告：防災知識と防災意識に関する実態把握

(2) イベント報告：「防災コミュニティラボ」の実装

【2023年度】



【2024年度】





駒澤大学 内海ゼミナール
防災活動とコミュニティをつなぐ防災訓練の進化系イベント

防災コミュニティラボ

調査研究と実装



(1) 調査研究報告：防災知識に関する実態把握

- 1) 調査研究報告-1. 公園と防災：2年生 森田麟太郎
- 2) 調査研究報告-2. 子供と防災：2年生 遠田梨央

調査研究-1. 公園と防災 (森田)



■ 研究の背景

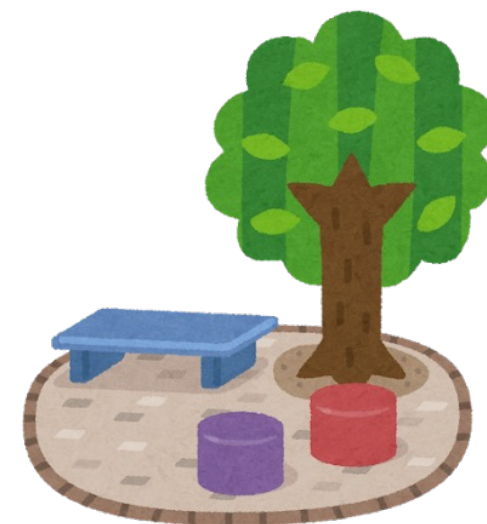
公園は幅広い年齢層に利用される→コミュニティの場・防災の場

地域な身近な、小さな公園はコミュニティとどのような関係を持つのか？

■ 研究の目的

住民に身近な小さな公園（近隣公園、住区基幹公園）の防災機能とコミュニティの関係を明らかにする。

→この研究成果を「防災コミュニティラボ」イベントに提供



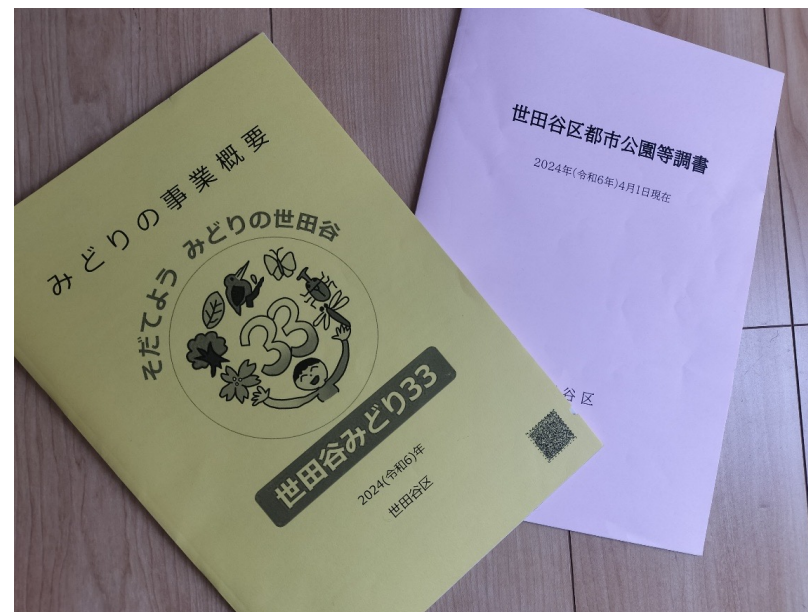
調査研究-1. 公園と防災 (森田)

■ 防災知識・防災意識の観点から明らかになったこと-1)

【文献調査】 地域な身近な小さな公園の防災機能とは？

- ① 利用効果 → 避難場所や救護の場所
- ② 存在効果 → 防災教育の場、建物の乱立を抑制、延焼を防止

防災教育、防災訓練を通したコミュニティの醸成



調査研究-1. 公園と防災 (森田)



■ 防災知識・防災意識の観点から 明らかになったこと-2)

【ヒアリング調査】地域コミュニティと 公園の防災機能の関係

- 管理：役所ではなく、地域の自治会
 - 備品の管理、かまどベンチ、マンホールトイレの設置
- 住民の要望
- 地域の防災意識（コミュニティ）が
公園防災機能に深い関係



世田谷区公園
緑地課への
ヒアリング



調査研究-2. 子供と防災 (遠田)



■ 研究の背景

- ・2024年度の「防災コミュニティラボ」では**子供の参加人数が少なかった**
防災と子供とのかかわりに関するコミュニティ研究
- ・防災の観点から子供は家庭にどのような影響与えているのか

■ 研究の目的

防災の観点から子供が家庭に与える影響について
文献・アンケート調査（後述の防災コミュニティラボ「デモイベント」）により明らかにする

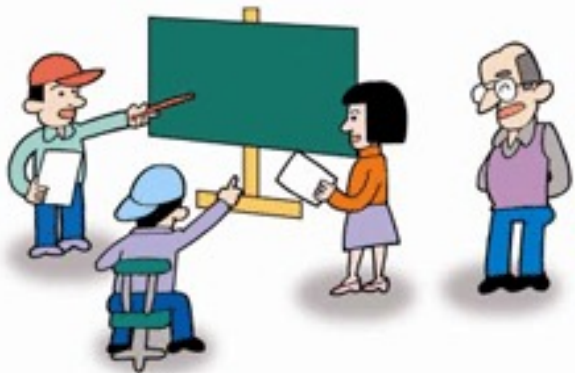
→この研究成果を「防災コミュニティラボ」イベントに提供

調査研究-2. 子供と防災 (遠田)

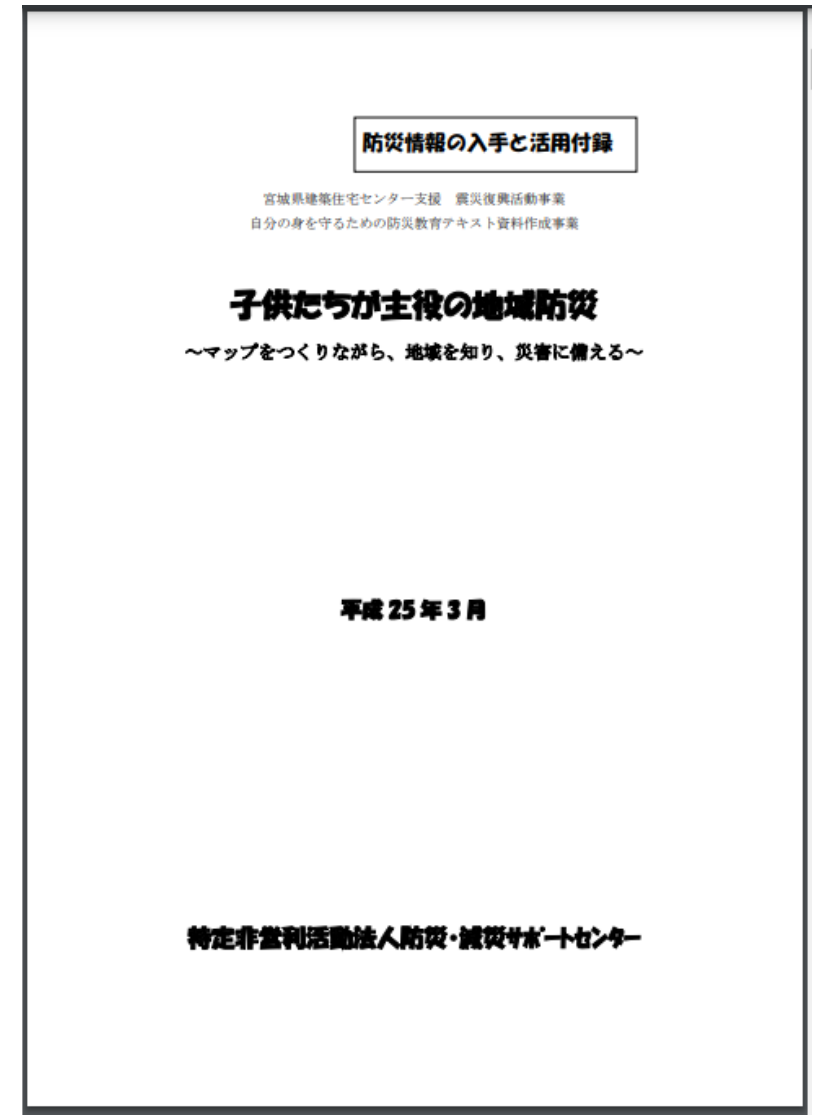


主な参考文献等

・子供たちが主役の地域防災
宮城県建築住宅センター支援震災復興活動事業
特定非営利活動法人 防災・サポートセンター
<https://bousai-support.or.jp/wp-content/uploads/2016/06panfu/20130329-2bousai-edu.pdf>



・子どもたちの力をのばす地域防災
内閣府
<https://www.bousai.go.jp/kyoiku/keigen/ichinitimae/ksh19029.html>





調査研究-2. 子供と防災 (遠田)

■ 防災知識・防災意識の観点から明らかになったこと-1)

【文献調査】

- 災害時に強く影響を受ける子どもがいる家庭

→災害は予告なく突然に現れるため災害時は**子供の視点が忘れられがち**

- 学校以外での防災活動が必要

→防災リュックの準備、家具の転倒落下の防止避難経路の確認、防災マップ作成 など

➡ 子ども主体の地域防災

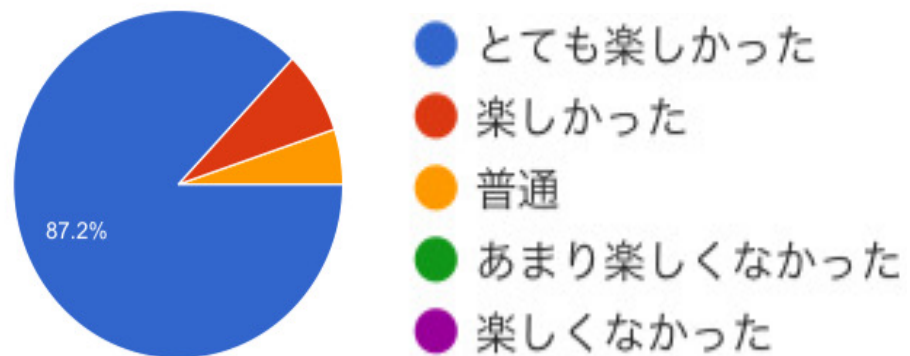
調査研究-2. 子供と防災 (遠田)



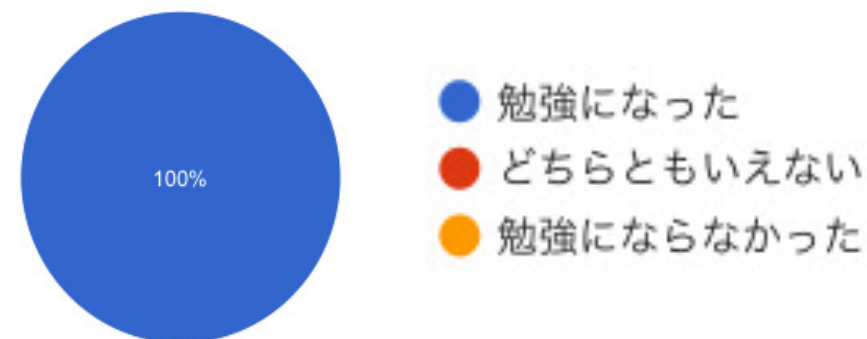
■ 防災知識・防災意識の観点から 明らかになったこと-2)

【アンケート調査】 回答数39
デモイベントに参加した90名の小学生対象

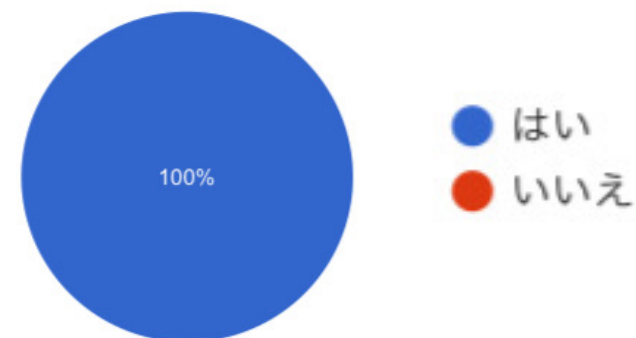
- ◆ 「防災コミュニティラボ・デモイベント」の感想を選んでください。



- ◆ 「防災コミュニティラボ：防災クイズ」は勉強になりましたか？



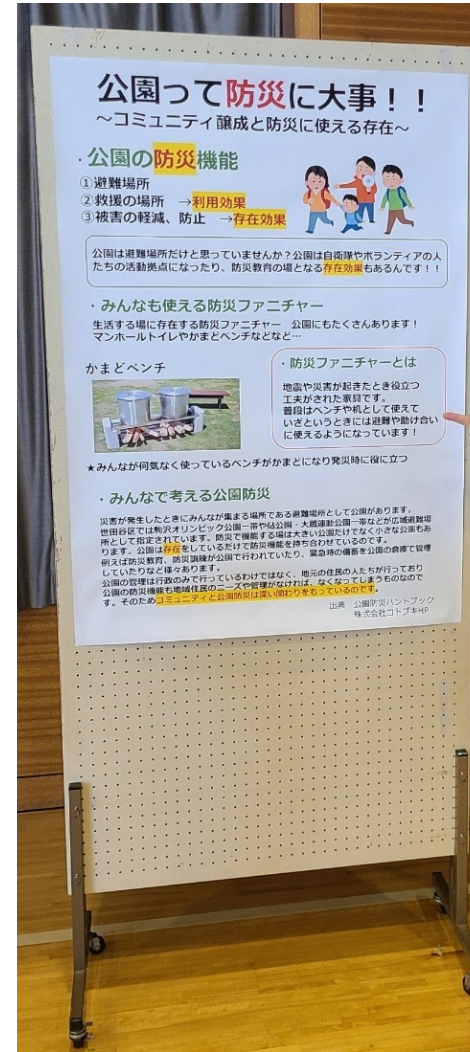
- ◆ 「防災コミュニティラボ：防災すごろく」で遊んで、自分の家の防災バッグを見直そうと思いましたか？





調査研究チーム (遠田、森田)

■ 防災コミュニティラボへの反映



調査研究チームのイベントへの反映

(遠田、森田)



■ 「防災コミュニティラボ」 イベントへの反映

公園って防災に大事！！

～コミュニティ醸成と防災に使える存在～

・公園の防災機能

- ①避難場所
- ②救援の場所 → 利用効果
- ③被害の軽減、防止 → 存在効果



公園は避難場所だけと思いませんか？公園は自衛隊やボランティアの人たちの活動拠点になったり、防災教育の場となる存在効果もあるんです！！

・みんなも使える防災ファニチャー

生活する場に存在する防災ファニチャー 公園にもたくさんあります！マンホールトイレやかまどベンチなどなど…

かまどベンチ



・防災ファニチャーとは

地震や災害が起きたとき役立つ工夫がされた家具です。普段はベンチや机として使えていざというときには避難や助け合いに使えるようになっているよ！

★みんなが何気なく使っているベンチがかまどになり発災時に役に立つ

・みんなで考える公園防災

災害が発生したときにみんなが集まる場所である避難場所として公園があります。世田谷区地域では駒沢公園や砧公園などが広域避難場所として指定されています。防災で機能する場は大きい公園だけでなく小さな公園もあります。公園は存在をしているだけで防災機能を持ち合わせているのです。例えば防災教育、防災訓練が公園で行われていたり、緊急時の備蓄を公園の倉庫で管理していたりなど様々あります。公園の管理は行政のみで行っているわけではなく、地元の住民の人たちが行っている公園の防災機能も地域住民のニーズや管理がなければ、なくなってしまうものなのです。そのためコミュニティと公園防災は深い関わりをもっているのです。

出典 公園防災ハンドブック
株式会社コトブキHP

Q7.駒沢オリンピック公園に設置されてあるベンチは災害時に別のものとして使えます。それは次のうちどれでしょう？

Q7.駒沢オリンピック公園に設置されてあるベンチは災害時に別のものとして使えます。それは次のうちどれでしょう？

- A.かまど
- B.水飲み場
- C.発電機
- D.ラジオ



正しい正解は・・・

A

災害の子供への影響と子供が家族に与える影響

未来の防災リーダーが主体で考える地域防災

地域コミュニティの重要性

子供や子育て家族は災害の影響をより強く受けます。

熊本地震で被害を受けた益城町の避難所の様子



例えば、災害時の避難場所は、体育館など地域の広く安全なスペースが利用されます。そのため、周囲の環境の変化による夜泣きや退行（精神発達が止まり、逆の方向に進むこと）など、精神的な面で強く影響を受けることがあります。特に、見知らぬ人たちとの共同生活は子供達に大きなストレスを与えます。

このため、地域や自治体の支援が必要不可欠であり、普段からのコミュニケーションが大切になります。

子供自身での判断が必要

災害は予告なく突然に起きます。予測が難しいため、緊急時に即座に判断し行動する力が求められます。そのために、日常的に学校や家庭での防災訓練や地域の自然環境の理解をすることが災害への備えになります。東日本大震災では、日頃からの防災訓練によって子供たち自身が適切に判断して避難し、被害を軽減させたケースがあります。子供達の災害、防災への学びは重要で、この学びが家族へも影響を与えます。

子供と一緒に災害への備えを考えよう！

- ・地域の公園や施設等を調べて防災マップの作成
- ・防災リュックの準備



出典・参考文献
宮城県建設住宅センター支援部 復興活動事業
防災非営利活動法人防災・減災サポートセンター「子供たちが主体的に地域の防災」
日本小児科医学会災害対策委員会 北山真次「災害時の子どものメンタルヘルス対策ガイド」
日本財団ジャーナル「災害を風化させない」生活環境を破壊し命を守る。災害医療ACT研究所が問診。安心できる避難所づくり」



駒澤大学 内海ゼミナール
防災活動とコミュニティをつなぐ防災訓練の進化系イベント

防災コミュニティラボ

調査研究と実装



(2) イベント報告:「防災コミュニティラボ」の実装

4年生：小山雄哉・武井博紀・山下真平・内山瞳・岩本幸樹・三宅歩果
新藤周・森山直之

3年生：関山陽人・角井海・馬地泰輝・笹川拓真・星愛日・渡部海・青木颯利
中村勇凜・栗原琉斗・井川かえで・大柄結菜・山田将大・青木悠馬
熊澤裕大・高橋篤史・廣川悠大・沖本秀太・福原大門・鈴木佑芽・高塚百桃

2年生：中尾心優・浦彩乃・鈴木伶奈・西尾大翔

1. 2024年度防災コミュニティラボ実装の推進体制



■ 構想段階 4月～6月

- ・年間スケジュールの検討・昨年度の課題解決のための会議
- ・地区別ミーティング・イベント内容の検討
- ・世田谷区、世田谷消防署、駒沢小学校への企画説明
- ・役割検討

■ 企画段階 6月～9月

- ・5度の小学校訪問・3度の消防署訪問
- ・イベントの方式決定・種目イメージの具現化
- ・プログラムの作成・防災グッズ、防災クイズの検討
- ・非常食試食会協賛企業の検討
- ・会場（駒沢小学校）のレイアウト検討
- ・パンフレット案と募集方法の検討

■ 実装段階 10月～12月

- ・10/12デモイベントの実施（駒沢小学校で開催：小学5年生対象）
- ・イベント本番までのスケジュール、備品確認
- ・協賛企業との打ち合わせ（非常食試食会、防災グッズ）
- ・イベント前日、当日のシナリオを作成・会場準備
- ・12/7本イベントの実施（駒沢小学校で開催：地域の方々を中心に）

小学校★・消防署★
地域の方々★との対話

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
イベント管理	スケジュール作成	小学校★&消防署★ 打ち合わせ		各チーム調整		★ ★ プログラム作成	★ ★ ★	★ ★ シナリオ作成 備品の調達 管理	★ ★ ★		
チーム編成	昨年度の課題抽出	世田谷区オリエンテーション	地区別ミーティング…町会等のご参加★	募集書類決定	合宿にて防災競技等のワークショップ開催		10 / 12 デモイベント(駒沢小学校)	募集開始	募集実施&選定	資料作成	成果報告会
パンフレット				イメージ作成			★ ★ チラシ完成	★ ★ 周知活動			
防災競技				競技検討		★ ★ 競技決定	★ ★ デモイベント内容決定	★ ★ 競技実験 道具の作成			
非常食試食会						協賛企業連絡	協賛企業とMT	★ ★ 食べ方の検討・備品調達			
防災情報クイズ						★ ★ デモイベントクイズ&資料決定	★ ★ 防災クイズ&資料決定	★ ★ 本イベントクイズ&資料作成			
防災グッズ						★ ★ 協賛企業とMT	★ ★ 防災グッズ及び体験ブース決定	★ ★ 協賛品調達 体験ブースの検討			
記録・ビデオ				記録撮影 & 各過程のチーム毎の活動を記録							

1. 推進体制:デモイベント(10/12実施) (渡部、青木)



■ 実施場所:駒沢小学校

■ デモイベントの目的

- 2023年度は防災訓練で紹介
- 2024年度は小学校5年生の授業としてイベントを実施
- 12月の本イベントのために小学生とその保護者へPR
- 防災における小学生（子供）の可能性をさぐる

■ イベント内容

1. 防災クイズ
2. 防災すごろく
3. 消化活動バケツリレー

しんかけいぼうさいくんれん
ぼうさい 進化系防災訓練
防災コミュニティラボ
デモイベント

ぼうさい 防災クイズ
ぼうさい 防災すごろく
しょうかかつどう 消化活動バケツリレー

こまざわしょうがっこうたいいくかん
場所 駒沢小学校体育館
日時 10月12日8:40~11:40

このイベントの内容がQRコードで見ることができます。

“防災コミュニティラボ”とは
楽しく体と頭を動かして
人と人とのかかわりを深めながら
防災知識（ぼうさいちしき）を高める取り組み

12月7日に行う防災コミュニティラボを
知ってもらうためにデモイベントを行います！
小学生のみんなに“防災コミュニティラボ”に
興味（きょうみ）を持ってもらいたいです！

体を使う競技（きょうぎ）もあるので動きやすい服で来てね！
保護者の方や地域の方も見学にいらしてください。

1. 推進体制:本イベント(12/7) (渡部、青木)



■ 実施場所:駒沢小学校体育館

■ イベント内容

合計8チームで実装に向け活動

今年度防災コミュニティラボの展開

- 1.防災競技
- 2.非常食試食会
- 3.防災情報とクイズ
- 4.防災グッズ

■ 準備・記録

- 5.管理・体制等
- 6.募集・チーム編成
- 7.パンフレット作製
- 8.記録・ビデオ

- ✓ デモイベントのPR効果で小学生＋保護者をメインに対象を想定
- ✓ イベント内容を昨年と大幅に変更することはせずに全体としてブラッシュアップを目指す
- ✓ 参加年齢層が昨年と違うためそれへの対応が課題



進化系防災訓練 防災コミュニティラボ



日時 12月7日(土)13:00~16:00
場所 駒沢小学校体育館 (世田谷区駒沢2-10-6)

《実施競技》
消火活動バケツリレー
負傷者搬送障害物リレー
応急処置競技

《その他の催物》
非常食試食会
防災知識クイズ
一緒に工作防災グッズ

主催
駒澤大学
内海ゼミナール
&
世田谷区

※ 競技に参加する方は動きやすい服装、靴でお越しください。

※ 競技(消火活動バケツリレー、負傷者搬送障害物リレー、応急処置競技)は保護者と一緒に参加いただきます。

お申込みは申込票を区窓口へ提出
or
Googleフォームからお願いします!



《お問い合わせ・区窓口》
世田谷総合支所地域振興課地域振興・防災担当
世田谷区世田谷4-22-33
世田谷区役所西棟2階203番窓口
TEL: 03-5432-2831
FAX: 03-5432-3032

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSem4pNsNKGJNcTj8d2ml-JT--aAS6ohajyGHT5dtyR88gMKJQ/viewform>



2. 参加者の募集方法とチーム編成 (栗原 中村 岩本)



- チーム編成の目的 コミュニティの醸成
幅広い年齢層の参加者を集め、チーム編成すること
- 2023年度 2024年度同様、手書き申し込み表とGoogle
フォームで参加者を募集
- 課題 小学生とファミリー層の参加が少なかった
募集期間が2週間で短かった

2. 参加者の募集方法とチーム編成 (栗原 中村 岩本)



■ 2024年度の参加募集方法

①手書き申し込み表

②Googleフォーム

手書き申込表とGoogleフォームの2つを使うことによって、幅広い年齢層の方が手軽に申し込みできる

デモイベント実施日（10月12日）から参加者の募集を開始し、2023年度よりも約1か月早く募集を開始することができた

2. 参加者の募集方法とチーム編成 (栗原 中村 岩本)



■ チーム編成の工夫

申し込み時の年齢、性別の情報を基にチームを編成



1チーム5人で、ビブスは赤青緑黄の4色を使用
各色の各番号は5枚(赤の1番が5枚、赤の2番が5枚、、、)
ビブス番号は1番～4番を使用



チームごとに年齢や性別の偏りをなくす





2. 参加者の募集方法とチーム編成 (栗原 中村 岩本)

■ 参加者を集めるための工夫

- デモイベント後、再度駒沢小学校に周知
- 駒沢小学校の連絡網(すぐーる)で保護者にも周知
- 町会の集まりでの周知
- 駒沢商店街での周知
- 駒沢大学駅前の周知



2. 参加者の募集方法とチーム編成 (栗原 中村 岩本)



■ デモイベントの周知

本イベントでの小学生とファミリー層の参加率を上げることができた

参加者：小学5年生90名と保護者、町会の方など

■ 本イベントの周知

去年よりも小学生とファミリー層の参加率が上がった

事前申し込み数 63名

事前申し込み無し当日参加者数 12名

事前申し込みあり欠席者数 18名

最終参加者数 57名

3. パンフレット・サイン等の検討と作成 (三宅 角井 大柄 井川)



**進化系防災訓練
防災コミュニティラボ**

日時: 12月10日(日)13時~16時
場所: 駒澤大学種月館4階種月ホール

《実施競技》
応急処置競技
障害物競技
災害サイクルリレー

《イベント》
非常食試食会
一緒に工作防災グッズ
防災知識クイズ

《主催》
内海ゼミナール
世田谷区

※競技に参加する方は動きやすい
服装、靴でお越しください。
※競技(応急処置競技、障害物競
技、災害サイクルリレー)は6歳以
上が対象です。

お申込Googleフォーム

お問い合わせ・区窓口
「世田谷総合支所地域振興課」
地域振興・防災担当
(電話: 03-5432-2831)

防災コミュニティラボとは？

運動・競技性・遊戯性+ コミュニティ
を実現した、進化系防災訓練です

このプロジェクトの背景は？

- ・地域コミュニティの希薄化
・防災訓練への参加率の低さ

これを克服するため
に駒澤大学内海ゼミ
がこのプロジェクト
を開始しました！

どのような競技をするの？

応急処置競技
障害物競技
災害サイクルリレー

体を動かしながら災
害時に必要な知識と
動きを身につけるこ
とが出来ます！

競技だけしか行わないの？

競技以外にも楽しく防災を
学べる試みをしています。

非常食試食会
一緒に工作防災グッズ
防災知識クイズ

私たちと一緒に楽しく
防災について学びませんか？
お待ちしております！

■ 2023年度の良い点

- ・ 内容についてのイラストをつける
- ・ 読みやすいように大きい文字、フォントにする
- ・ パンフレットの表紙からポスターまで色味を合わせて作る

■ 留意点

- ・ 色覚障害や色盲の方へ配慮する
- ・ 年配の方が見やすい文字サイズにする



3. パンフレット・サイン等の検討と作成 (三宅 角井 大柄 井川)



■ 2024年度パンフレット

- 色覚障害や色盲の方への配慮：反対色を使う
- 子供への対応：ふりがなをつけ、見出しなどを可愛らしいデザインにする
- 去年のイラストを再利用



進化系防災訓練
防災コミュニティラボ

日時 12月7日(土)13:00~16:00
場所 駒沢小学校体育館 (世田谷区駒沢2-10-6)

《実施競技》
消火活動バケツリレー
負傷者搬送障害物リレー
応急処置競技

《その他の催物》
非常食試食会
防災知識クイズ
一緒に工作防災グッズ

主催
駒澤大学
内海ゼミナール
&
世田谷区

※ 競技に参加する方は動きやすい服装、靴でお越しください。
※ 競技(消火活動バケツリレー、負傷者搬送障害物リレー、応急処置競技)は保護者と一緒に参加いただきます。

お申込みは申込票を区窓口へ提出
or
Googleフォームからお願いします!

《お問い合わせ・区窓口》
世田谷総合支所地域振興課地域振興・防災担当
世田谷区世田谷4-22-33
世田谷区役所西棟2階203番窓口
TEL: 03-5432-2831
FAX: 03-5432-3032

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSem4pNsNKGJNcTj8d2ml-JT--aAS6ohajyGHt5dyR88gMKJQ/viewform>

↑ 本イベントパンフレット(12月)

しんかけいぼうさいくんれん
ぼうさい **進化系防災訓練**
防災コミュニティラボ
デモイベント

ぼうさい **防災クイズ**
ぼうさい **防災すごろく**
しょうかかつどう **消火活動バケツリレー**
こまざわしょうがつこうたいいくかん

場所 駒沢小学校体育館
日時 10月12日8:40~11:40

↑このイベントの内容がQRコードで見ることができます。

“防災コミュニティラボ”とは
楽しく体と頭を動かして
人と人のかかわりを深めながら
防災知識 (ぼうさいちしき) を高める取り組み

12月7日に行う防災コミュニティラボを知ってもらうためにデモイベントを行います!
小学生のみんなに“防災コミュニティラボ”に興味 (きょうみ) を持ってもらいたいです!

体を使う競技 (きょうぎ) もあるので動きやすい服で来てね!
保護者の方や地域の方も見学にいらしてください。

↑ デモイベントパンフレット(10月)

4. 防災競技

(小山、青木、馬地、山田、中尾、浦)



■防災競技の目的

→ 体を動かしたコミュニティの醸成

■2023年度の実施内容

楽しく防災時の行動を身につけるための競技を実施

■課題

役割分担：参加者1人1人に具体的な役割を与える

当事者意識：より自分ごととして捉えられる工夫

チーム強化：チームワークを向上させる仕組み



4. 防災競技

(小山、青木、馬地、山田、中尾、浦)



■2024年度の実施内容

- ・ **役割分担の明確化**

それぞれに違った役割を持たせ、当事者意識を高める

- ・ **自然なコミュニケーションの促進**

チーム内での会話が生まれる競技の設計

■実施競技

A 消火活動バケツリレー

B 応急処置競技

C 負傷者搬送障害物リレー



4. 防災競技

(小山、青木、馬地、山田、中尾、浦)



A 消火活動バケツリレー : デモイベント、本イベントで実施 チームで協力してバケツを運ぶ競技

<手順>

1. グループで列を作って一番最後の人からバケツ回しをスタートする
2. 前の人まで回ったら前の的に向けてバケツの中のお手玉を投げる
3. 1. 2. を繰り返す



目的 : 協力と連携の重要性を理解する

効果 : 初期消火に関する正しい知識の習得、
役割意識の向上、コミュニティ形成の促進



4. 防災競技 (小山、青木、馬地、山田、中尾、浦)



B 応急処置競技：本イベントで実施

応急処置の仕方を学び正しい方法を身に着ける



<手順>

1. チームで一列に並び、先頭の人から順番に応急処置をしていく
2. 消防士さんからメンバー全員のOKがもらえたら終了

目的：緊急時に適切な応急処置ができるようになる

効果：応急処置に関する正しい知識の習得
コミュニティ形成の促進



4. 防災競技

(小山、青木、馬地、山田、中尾、浦)



C 負傷者搬送障害物リレー：本イベントで実施

2023年度行った障害物リレーの改良版

<手順>

1. チームごとに搬送方法を決める
(毛布搬送、徒手搬送、棒と服で作る担架搬送)
2. チーム内で搬送者4人と先導役1人に役割を分担し、
負傷者を指定された方法で搬送する
3. コースを進み、ゴール地点に到着したら終了

目的：安全に搬送する知識と技術を身に着ける

効果：正しい搬送方法の把握、様々な搬送方法に関する
知識向上、コミュニティ形成の促進



5. 防災情報とクイズ

(武井、山下、内山、笹川、廣川、西尾)



■ 実施目的

- ◎防災の**最新かつ正確**な情報、知識を学んでもらう
- ◎防災情報を収集し、**わかりやすく**提供する
- ◎クイズ形式で**楽しみながら**知識を身につけられるようにする
- ◎防災対策を始める**きっかけ作り**



5. 防災情報とクイズ

(武井、山下、内山、笹川、廣川、西尾)



■ 2023年度

- 東京防災や東京消防庁のHPに掲載されている情報を収集し、イベントでポスターを掲示
- ポスターの内容をクイズにして出題

■ 課題

- 最新の防災情報の提供
- 幅広い世代が楽しめるための難易度設定
- クイズによる新たなコミュニティの形成



5. 防災情報とクイズ (武井、山下、内山、笹川、廣川、西尾)



■ 2024年度 デモイベント

デジタルコンテンツを利用した防災学習

東京消防庁の防災デジタルコンテンツを引用し
小学生により理解しやすい防災知識を提供

防災学習を生かしたクイズの出題

最初に視聴してもらった防災デジタルコンテンツの中からクイズを出題
楽しく防災情報を復習することが狙い

小学生目線でのクイズ内容に対する意見の収集

小学生がどのくらい防災知識があるかを調査
実際に小学生にクイズを行ってもらい、内容に対する意見や感想をもらうことで難易度を検討
(調査研究-2.アンケート結果：遠田報告参照)



5. 防災情報とクイズ

(武井、山下、内山、笹川、廣川、西尾)



■ 2024年度 本イベント

最新かつ正確な防災情報の提供、掲載

世田谷消防署や世田谷区地域振興課の方々からご意見・ご指導をいただきながら防災情報ポスターを作成、掲示

幅広い世代に合う難易度のバランス設定

小学生から高齢者の方までわかりやすくするためにふりがなや配色、言葉の言いまわしを工夫して難易度を調整

得点順位に応じた景品（非常食）の配布

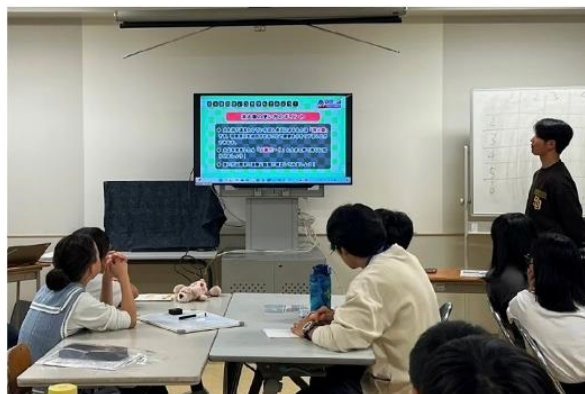
より積極的な参加を促すため、順位に応じて非常食の詰め合わせを景品として用意

5. 防災情報とクイズ

(武井、山下、内山、笹川、廣川、西尾)



■ 2024年度10月 デモイベント



↑防災ビデオを視聴する様子



↑防災クイズを実施している様子

■ 2024年度12月 本イベント



↑防災ポスターを掲載している様子



↑チーム毎に防災クイズに解答する様子

6. 一緒に工作防災グッズ (福原、沖本、鈴木)



■ 目的

競技に参加をする、しないに限らず、防災に関する知識を楽しみながら、実生活と結びつけてもらう

■ 2023年度の内容

新聞紙スリッパ、紙食器の工作



■ 2024年度の内容

ピカッと！安全キーホルダー
防災スゴロク
防災謎解き



6. 一緒に工作防災グッズ (福原、沖本、鈴木)



■ 株式会社ピコトン様からの協賛品

- ① ピカッと！安全キーホルダー(50セット)
- ② 防災謎解き
- ③ 防災スゴロク

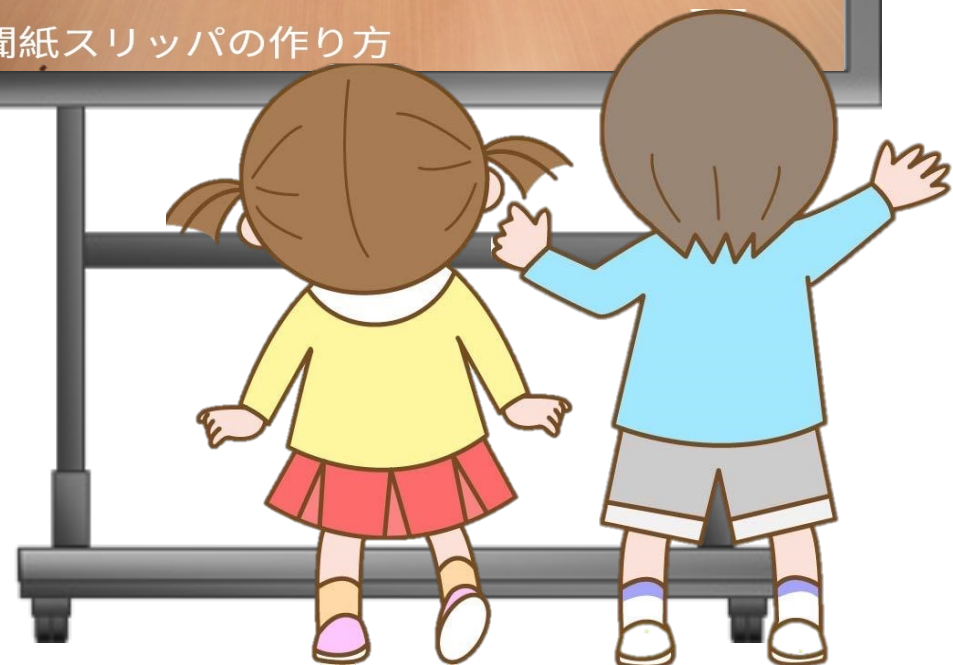


6. 一緒に工作防災グッズ (福原、沖本、鈴木)



■ 得られた成果

- 地域コミュニティの醸成に役立たせることができた
- 作り方動画をモニターで流すことで昨年の課題であった「教える人が少なくて困る」という課題を解決できた



7. 非常食試食会

(新堂、高橋、熊澤、関山)



■ 目的

コミュニティの醸成＋非常食の知識理解

■ 2023年度 の成果

- ①尾西食品株式会社様からご協賛
- ②非常食を試食し、最も美味しかったものに投票
→アンケート結果からも満足度を確認できた

■ 課題

- ①子供や親世代の参加が少ない
- ②非常食への知識理解が不十分



7. 非常食試食会

(新堂、高橋、熊澤、関山)



■ 2024年度のイベント

- ① 幅広い年齢層の参加+災害時のリアリティ追求→馴染みがあり、調理不要の非常食の提供
 - ② 一歩踏み込んだ、非常食の知識理解 →非常食の特徴を載せたリーフレット資料の作成、配布
- +
- ③ 非常食のパンと市販のパンとの食べ比べ
パネルを用いた非常食の詳しい説明



7.防災競技非常食試食会

(新堂、高橋、熊澤、関山)



■ リーフレット資料と協賛品

防災コミュニティラボ 非常食試食会 非常食ガイド



●非常食の準備を今始めてみませんか？

なぜ非常食が必要なのか？

- ①災害時ライフラインの停止：水や食料が手に入りにくくなります
- ②人口に対する避難所不足：全ての人が使えるとは限りません
- ☆特に上馬地区では避難所収容人数2千人に対し、人口3万人のため備蓄には限りがあるため、日頃からの備えが重要です！

非常食は最低**3日分**、できれば**1週間分**を目標に備蓄

水は1人あたり**1日3L**の水が必要

体の水分が不足すると、熱中症、脳梗塞、心筋梗塞など、さまざまな健康障害のリスクの要因にもなります

なぜ3日間？

→災害が発生してから救助体制が整うまで3日はかかるといわれています。

災害備蓄品を見直す

4つのポイント！

- ①食べ慣れたもの
- ②おいしいもの
- ③収納保管、賞味期限の管理がしやすいもの
- ④発災初動と長期化に適したもの

●ローリングストックで無駄なく備蓄！

ローリングストックの手順

- ①日常的に使用する食品を多めに備蓄
- ②古いものから消費
- ③新しいものを買い足す
- こうすることで...
- ☆常に新鮮な食品を確保！



政府広報オンラインより

●試食ラインナップ



新食缶ベーカリー 黒糖

・賞味期限5年

・安心して食べられる
→焼き上げから密閉まで
人の手に触れない

・常識を覆す食感

●原材料に含まれるアレルギー特定原材料28品目

小麦・卵・乳成分・大豆
(本品製造工場では、くろみを含む製品を製造しております。)



新・備玄米リゾット トマト

・美味しさの追求

・調理不要でおいしい
→**植物性油脂**によって常温でも美味しい

・アレルギー28品目不使用

●原材料に含まれるアレルギー特定原材料28品目

不使用



すこやかな毎日、
ゆたかな人生

Glico



5年保存
5枚×6パック



AST CORPORATION
アスト株式会社



7. 防災競技非常食試食会

(新堂、高橋、熊澤、関山)



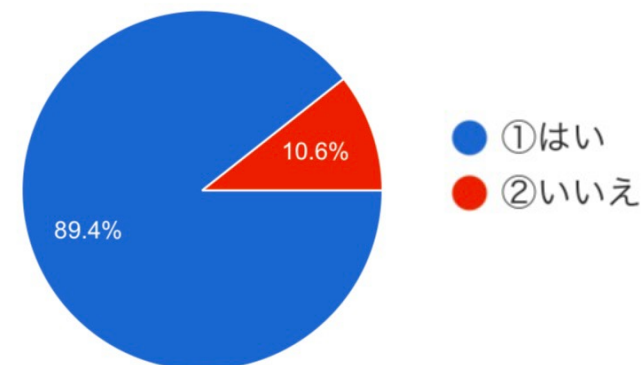
■ アンケート結果（主な意見）

- ・ みんなと話しながら食べれて楽しかった
- ・ 昔のものと比べてものすごくおいしかった
- ・ 非常食でも美味しいものがあることに驚いた
- ・ 想像よりおいしかった
- ・ 味も保存期限も昔に比較して良くなっている

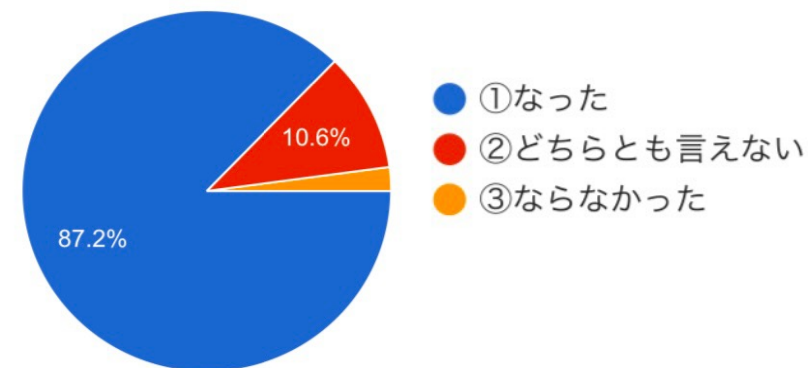
約9割の参加者に非常食に対する印象や見直すきっかけをつくることができた

コミュニティの醸成と非常食の知識・関心を高めることができた！

Q.非常食に対する印象はかわりましたか？



Q.非常食を見直すきっかけになりましたか？



8. 記録・ビデオ (鈴木、高塚、星、森山)



■ プロジェクト日記

プロジェクトでの各グループでの活動を記録

プロジェクトのプロセスを3つの段階に整理



構想段階: 4月～6月(世田谷区オリエンテーション、小学校訪問、など)

企画段階: 6月～9月(地区別ミーティング、協賛依頼、合宿、など)

実装段階: 10月～12月(デモイベント、シナリオ読み合わせ、など)



8. 記録・ビデオ

(鈴木、高塚、星、森山)

■ 動画作成

プロジェクト日記、写真、映像をまとめて一つの動画を作成
今年度、内海ゼミナールの活動やイベントで、
どのようなことを行ったのかを動画で表現

→来年度以降のゼミ活動への研究活用
上馬地区への来年以降のイベントの周知

